

福井工業高等専門学校		開講年度	令和06年度（2024年度）		授業科目	国語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0032			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	物質工学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	筑摩書房『文学国語』、筑摩書房『文学国語 ワークシート』、筑摩書房『語彙力をつける入試漢字2600』						
担当教員	市村 葉子						
到達目標							
(1) 近現代の文学作品を読み、登場人物の心情を読み取り、それに対する意見を持つことで、豊かな感受性を育てる。 (2) 評論文を読み、論旨を的確に捉え、それに対する自身の意見を説得的にわかりやすく述べることができる。 (3) 熟語や慣用句など、社会生活に必要な日本語の知識を修得し、自身の表現活動に役立てることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
文学的文章	文学的文章を読み、主題・登場人物の心情・情景描写の効果を適切に読み取ることができる。その作品について自身の意見を述べることができる。			文学的文章を読み、主題・登場人物の心情・情景描写の効果が大まかに理解できる。その作品について自身の意見を述べることができる。		文学的文章を読み解くことができない。	
評論的文章	論理的な文章を読み、その論旨を適切に理解することができる。その文章に対して、説得的に意見を述べることができる。			論理的な文章を読み、その論旨をある程度理解することができる。その文章に対して、意見を述べることができる。		論理的な文章の論旨が理解できず、その文章に対する意見も述べることができない。	
日本語	社会生活に必要な日本語の知識（漢字・慣用句など）を修得し、自身の表現活動に役立てることができる。			社会生活に必要な日本語の知識（漢字・慣用句など）をある程度身につけ、自身の表現活動に役立てることができる。		社会生活に必要な日本語の知識が身についておらず、自身の表現活動にも役立てられない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 RC2							
教育方法等							
概要	読む・書く・話す・聞く・考えるそれぞれの能力を有機的に関連付け、国際的に活躍できる技術者に必要とされる論理的思考能力、感受性を養う。 日本語力の基礎である漢字・ことわざなどの知識を修得し、自身の表現活動に役立てる。						
授業の進め方・方法	論理的な文章を読む授業においては、設問に答えながら筆者の論の展開を把握し、適切に論旨を読み取る活動を行う。読み終えた後、個人またはグループでの活動を通して、他者にわかりやすく、かつ説得的に自分の意見が述べられるようにする。 文学的文章を読む授業においては、作品の背景知識を得ながら、主題や登場人物の心情を理解する活動を行う。読み終えた後は作品に対する意見・感想を他者にわかりやすく伝えることを意識し、伝える。 随時漢字の小テストを行い、自身の表現活動に役立てられるようにする。						
注意点	授業は予習前提で行うため、未知語、読めない漢字はあらかじめ調べておくこと。 辞書の持ち込みは可。ただし、スマートフォンなどの使用は不可。 小テスト実施日に欠席した場合、事前連絡は追テストを課す。連絡なしの場合は追テストを認めるが点数を8割とする。 課題は締め切りを守って提出すること。締め切りを過ぎた場合、減点の対象となる。 各学期とも5回発表したら、発表点として10点与える。 学習意欲のある成績不良者に対しては追課題を課すことがある。 シラバスは変更することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス／情報の彫刻（1）		授業の進め方、評価方法を理解する。／文章で使用されている重要語、重要表現を説明する。		
		2週	情報の彫刻（2）		筆者が「書籍は「情報の彫刻」」と述べた意図を説明する。		
		3週	情報の彫刻（3）／小テスト（p46-53）		電子メディアと書籍との関係性について、自分の考えをまとめる。		
		4週	山月記（1）		中島敦について理解を深める。 李徴が虎になった経緯を、その心情も踏まえ説明する。		
		5週	山月記（2）		李徴と袁修の人物像を理解する。		
		6週	山月記（3）／小テスト（p54-61）		李徴の詩文への執着の強さを理解する。		
		7週	山月記（4）		「臆病な自尊心」、「尊大な羞恥心」とは何かを説明する。		
		8週	山月記（5）		李徴が袁修への独白を通してどのように変化したかを理解する。		
	2ndQ	9週	中間試験		これまでの学習をまとめ、知識の定着度を確認する。 自分の考えを適切に表現する。		
		10週	中間試験解説／山月記（6）		李徴の「胸を灼ような悔い」を説明する。		
		11週	山月記（7）		李徴が最後に得たものと失ったものを考察する。		
		12週	実体の美と状況の美（1）／小テスト（p70-77）		日本人とアメリカ人の美意識の違いを説明する。		
		13週	実体の美と状況の美（2）		「状況の美」を説明し、具体例を考える。		
		14週	実体の美と状況の美（3）		自分が撮った写真をグループで示し、「実体の美」と「状況の美」とは何か話し合う。		

後期		15週	復習	これまでの学習をまとめる。
		16週		
	3rdQ	1週	ガイダンス／ディベート（1）	授業の進め方、評価方法を理解する。／あるテーマについて、自分の立場を明確にし、意見文を作成する。
		2週	ディベート（2）	グループで役割分担し、ディベートを行う。
		3週	永訣の朝（1）／小テスト（p78-65）	宮沢賢治についての理解を深める。「わたくし」の気づきを説明する。
		4週	永訣の朝（2）	この詩にこめた「わたくし」の願いを説明する。
		5週	文学という仕事（1）	筆者の主張と論理展開を理解する。
		6週	文学という仕事（2）	二つの具体例の共通点を説明し、それを基に筆者の主張を再確認する。
		7週	文学という仕事（3）	筆者の意図する文学の目的について身近な例で説明する。
		8週	中間試験	これまでの学習をまとめ、知識の定着度を確認する。自分の考えを適切に表現する。
	4thQ	9週	中間試験解説／こころ（1）	試験結果をもとに、これまでの復習をし、各自の課題を発見する。／夏目漱石についての理解を深める。
		10週	こころ（2）／小テスト（p86-93）	「私」のKに対する心情を理解する。
		11週	こころ（3）	二人が言った「進む／退く」の解釈の根拠を文中からとらえる。
		12週	こころ（4）	「私」とKの認識の違いを理解する。
		13週	こころ（5）	Kが言った〈覚悟〉の意味について考える。
		14週	こころ（6）／小テスト（p102-109）	Kと「私」の行動と、その心情を理解する。
		15週	こころ（7）	「私の自然」について考える。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	前1,前2,前3,前12,前13,前14,後5,後6,後7,後8
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,後3,後4,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,後3,後4,後5,後6,後7,後10,後11,後12,後13,後14
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	前11,前14,後2,後7,後15
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前8,前10,前11,後1,後2,後4,後7,後11,後12,後13,後14,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前3,前7,前8,前10,前13,前14,後2,後4,後7,後12,後13,後14,後15

評価割合

	試験	小テスト	課題	発表	合計
総合評価割合	60	15	15	10	100
基礎的能力	60	15	15	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0